

福島第一原子力発電所事故に係る 特別調査結果の概要について

平成27年8月17日(月)

茨城県東海地区環境放射線監視委員会

1. 環境放射線の測定結果

(1) 航空機モニタリング(原子力規制庁)

<平成26年度航空機モニタリング>

○ 測定時期

平成26年9月1日～11月7日

○ 測定範囲

福島第一原子力発電所から80km圏内
及び80km圏外(福島県, 宮城県, 茨城県,
栃木県, 群馬県, 岩手県南部, 山形県東部
千葉県北部, 埼玉県東部)

○ 測定結果

- ・空間線量率は, 平成26年11月7日時点で補正
- ・茨城県内の空間線量率は, 県北沿岸及び
県南地方でやや高めであった。

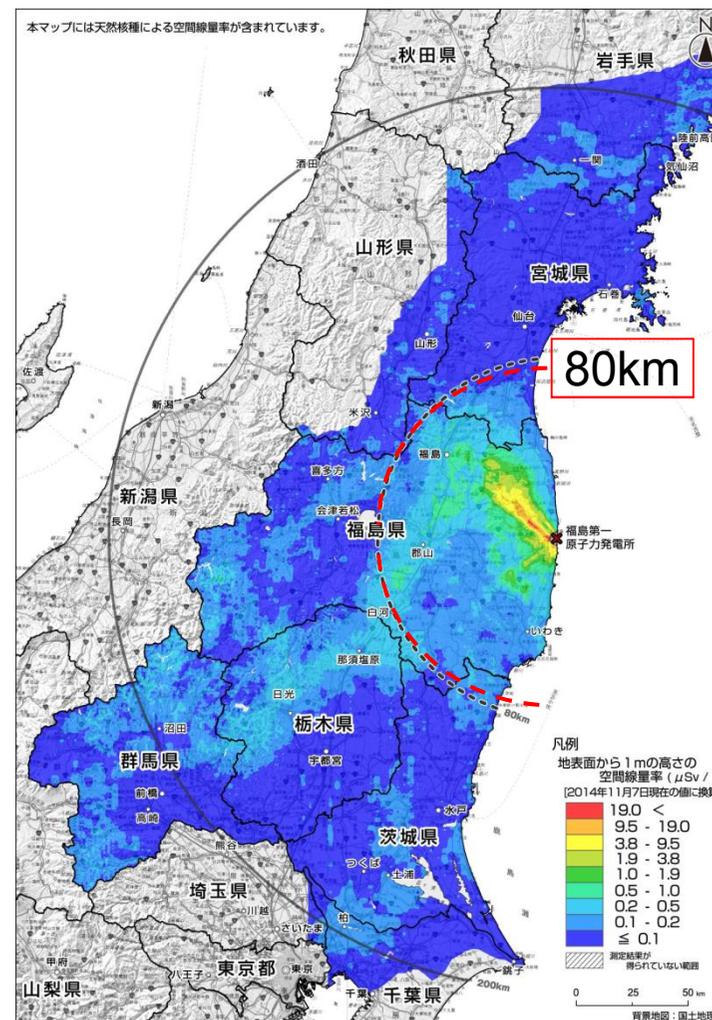


図 航空機モニタリングの結果
(地表面から1m高さの空間線量率)
(平成26年11月7日の値に換算)

(2) 空間線量率

(マイクロシーベルト/時)

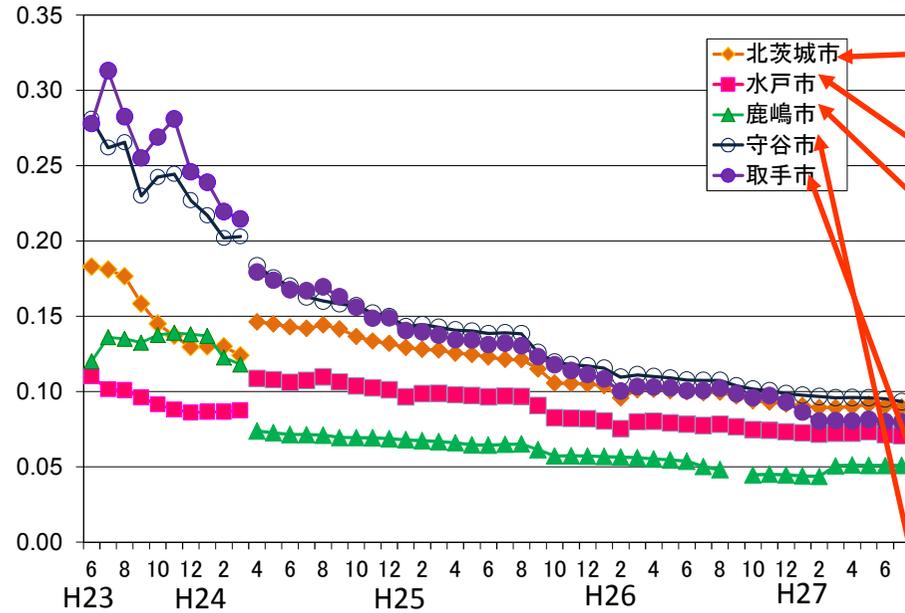


図 平成23年度以降に測定した1m高さの空間放射線量率の変動(H27.7まで)

【備考】

- ・H23.6～H24.3は、可搬型モニタリングポストまたはサーベイメータで測定
- ・H24.4から全ての地点でモニタリングポストによる測定を開始
これに伴い、一部の測定地点を移動
- ・鹿嶋市のH26.9は、モニタリングポスト点検のため、欠測

表 空間線量率の最大値(H27.7.31)

	市町村	空間線量率 (マイクロシーベルト/時)
最大	守谷市	0.093

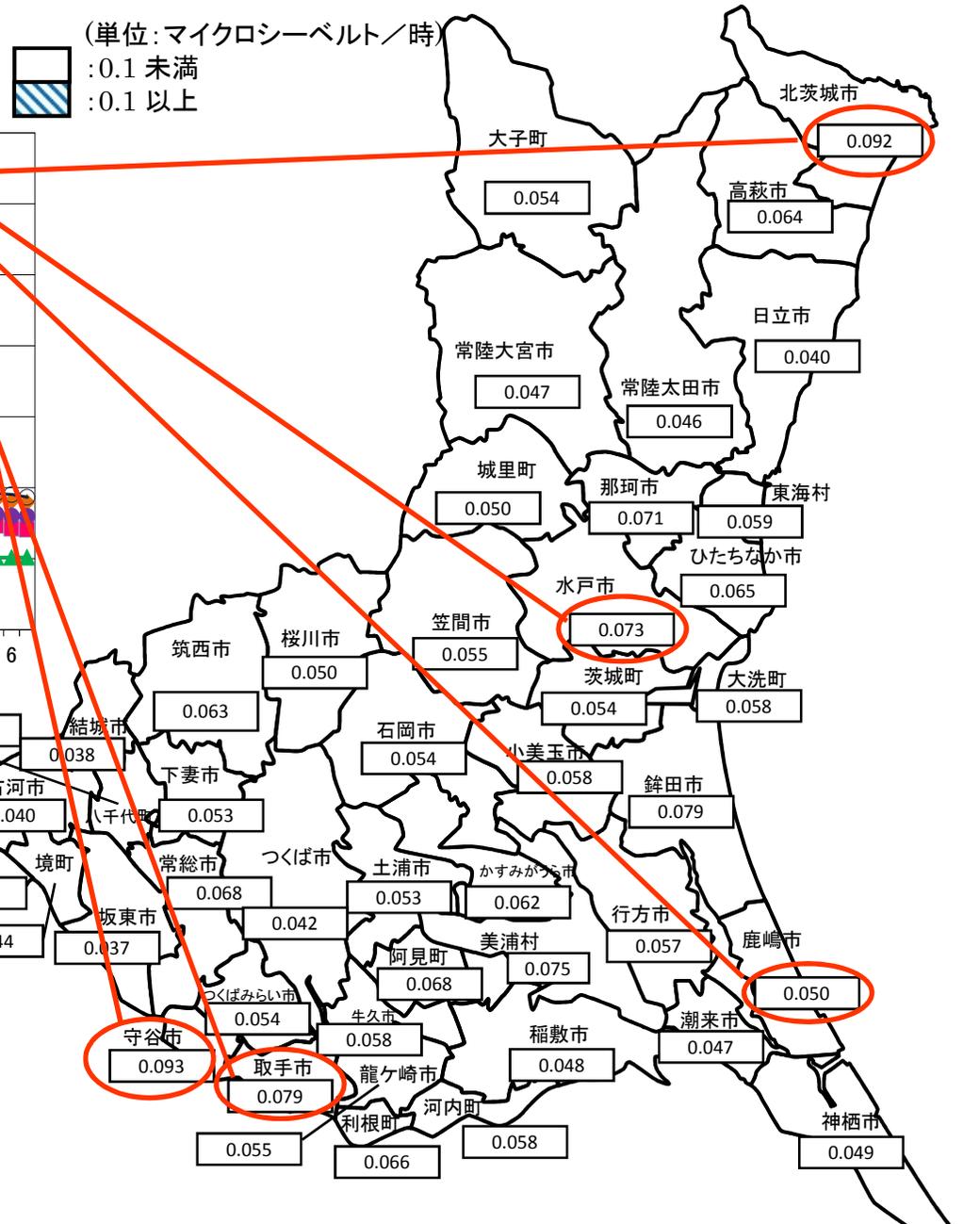


図 全市町村空間線量率(地上1m)測定結果(H27.7.31)

2. 海水浴場の測定結果

- 測定期間 : 平成27年4月～7月
- 測定回数 : 5回
- 対象海水浴場 : 18海水浴場

表 平成27年度第5回(7月)海水中の放射能濃度測定結果

	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	^3H (トリチウム)
海水(Bq/L)	ND	ND	ND	ND

ND; 検出下限値未満(^{131}I , ^{134}Cs 及び ^{137}Cs :1Bq/L, ^3H (トリチウム):20Bq/L)

表 平成27年度第5回(7月)海水浴場の放射線量率測定結果※1

	測定結果	備考
放射線量率 (マイクロシーベルト/時)	0.04～0.06※2	(測定高さ) 砂浜表面, 高さ50cm, 高さ1m

※1 : [姥の懐マリンプールは砂浜がないため, 測定対象外](#)

※2 : 測定結果は, 県が沿岸の市町村(モニタリングポスト)で測定した放射線量率(1m高さ)(0.04～0.09 $\mu\text{Sv}/\text{時}$)や, 国内外の主要都市(東京:0.03 $\mu\text{Sv}/\text{時}$, ニューヨーク0.06 $\mu\text{Sv}/\text{時}$)の放射線量率に比べ同程度又はそれ以下

3. 海水・海底土の測定結果(原子力規制庁実施)

- 測定期間 : 平成23年5月
~ 平成27年5月
- 対象地点数 : 茨城県沖約10~40km
10地点

○ 測定結果

表 海水測定結果(平成27年5月)

	$^{134}\text{Cs}(\text{Bq/L})$		$^{137}\text{Cs}(\text{Bq/L})$	
	結果	過去最大	結果	過去最大
表層	0.00026-0.00092	0.11(H23.9.8)	0.0022-0.0044	0.13(H23.9.8)
下層	ND-0.00073	0.068(H23.9.7)	0.00072-0.0035	0.085(H23.9.7)

※ ND ; 検出下限値未満(0.001Bq/L程度)

表 海底土測定結果(平成27年5月)

	$^{134}\text{Cs}(\text{Bq/kg}\cdot\text{乾土})$		$^{137}\text{Cs}(\text{Bq/kg}\cdot\text{乾土})$	
	結果	過去最大	結果	過去最大
海底土	ND-32	440(H23.9.8)	0.55-120	520(H23.9.8)

※ ND ; 検出下限値未満(1Bq/kg・乾土程度)

【備考】

・「過去最大」は、現在の測定方法となった平成23年9月以降の調査で観測された最大値を記載。

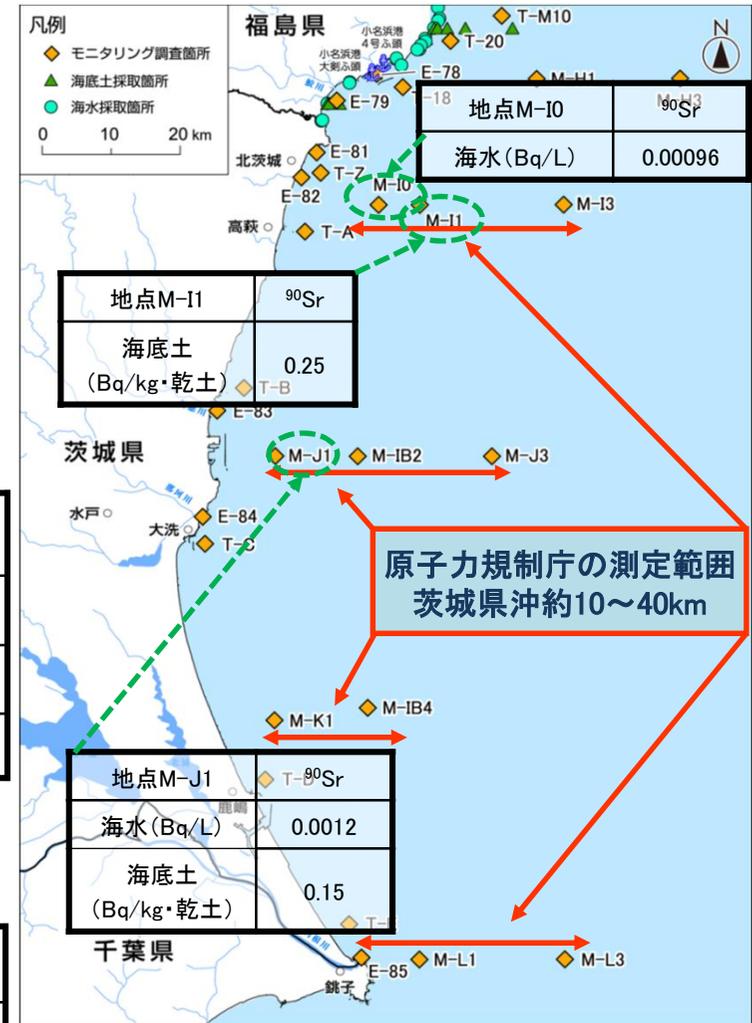


図 茨城県沖の海域モニタリング地点
(平成25年4月以降)(出典;原子力規制庁等)

※ ^{90}Sr について、海水は平成27年1月の測定値
○ ^{90}Sr の過去最大(平成23年9月以降)
海水:0.043Bq/L(H23.10.14)
海底土:1.9Bq/kg・乾土(H23.9.8)

4. 公共用水域の水質・底質測定

(1) 茨城県内の河川・湖沼・ダム等の水質・底質測定(環境省実施)

- 測定期間 : 平成23年8月～平成27年5月
- 対象河川等数 : 77 河川・湖沼・沿岸域・ダム
- 測定回数 : 15回(12回※)

※ 括弧内はダムの測定回数
平成24年10月から計12回実施

- 測定結果(第15回:平成27年5月)

表 水質測定結果

	$^{134}\text{Cs}+^{137}\text{Cs}(\text{Bq/L})$	
	結果	過去最大
水質	ND	ND

※ ND ; 検出下限値未満(1Bq/L)

表 底質測定結果

	$^{134}\text{Cs}+^{137}\text{Cs}(\text{Bq/kg乾土})$	
	結果	過去最大
底質	ND～2,490	5,800(H24.2.21)

※ ND ; 検出下限値未満(10Bq/kg)

【備考】

・「過去最大」は、平成23年8月以降の調査で観測された最大値を記載。

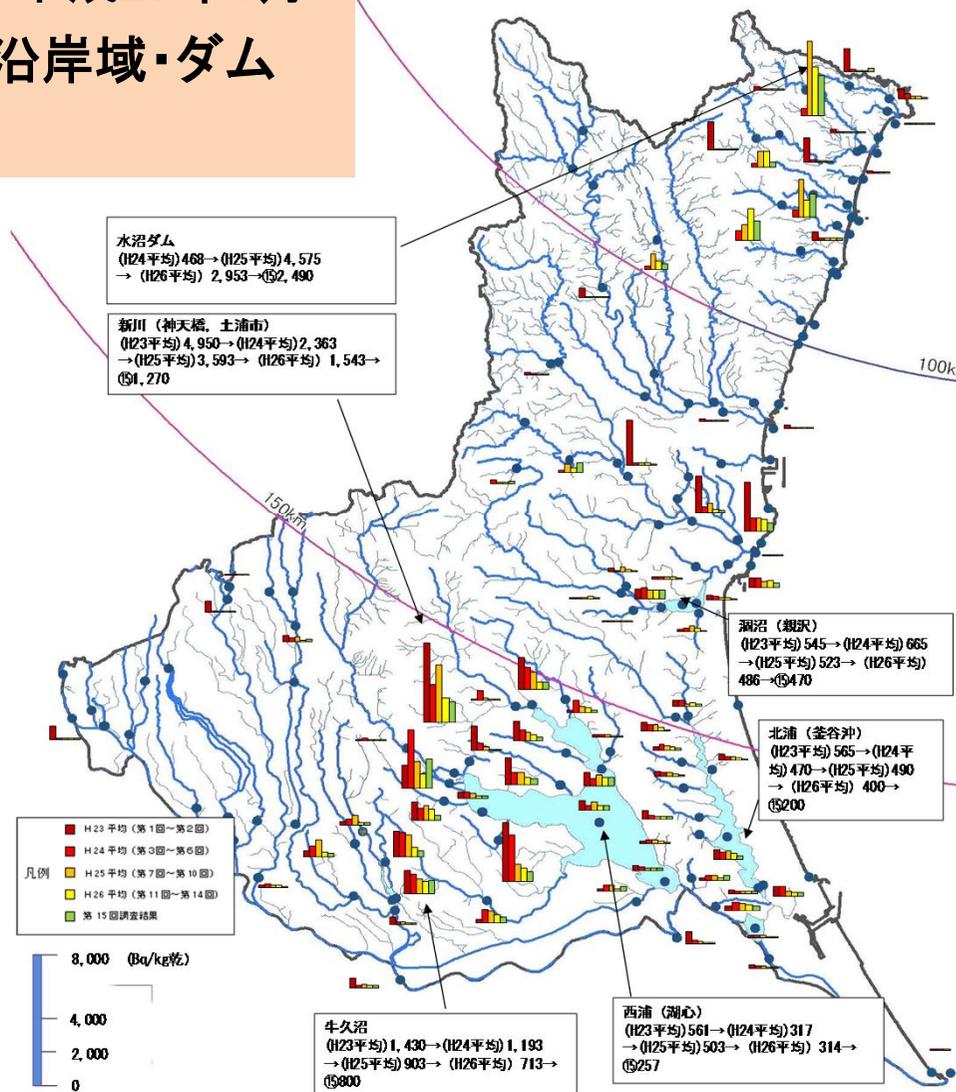


図 公共用水域等の放射性物質モニタリング調査結果(底質の放射性セシウム濃度) 出典; 県環境対策課

(2) 霞ヶ浦流入河川及び湖内の水質・底質測定(環境省・県実施)

- 測定期間 : 平成23年8月～平成27年5月
- 対象河川等数 : 64河川・水路・霞ヶ浦湖内
- 測定回数 : 15回

- 測定結果
(第15回:平成27年5月)

表 水質測定結果

	$^{134}\text{Cs}+^{137}\text{Cs}(\text{Bq/L})$	
	結果	過去最大
水質	ND	ND

※ ND ; 検出下限値未満(1Bq/L)

表 底質測定結果

	$^{134}\text{Cs}+^{137}\text{Cs}(\text{Bq/kg乾土})$	
	結果	過去最大
底質	27~1,760	5,800(H24.2.21)

※ ND ; 検出下限値未満(10Bq/kg)

【備考】

・「過去最大」は、平成23年8月以降の調査で観測された最大値を記載。

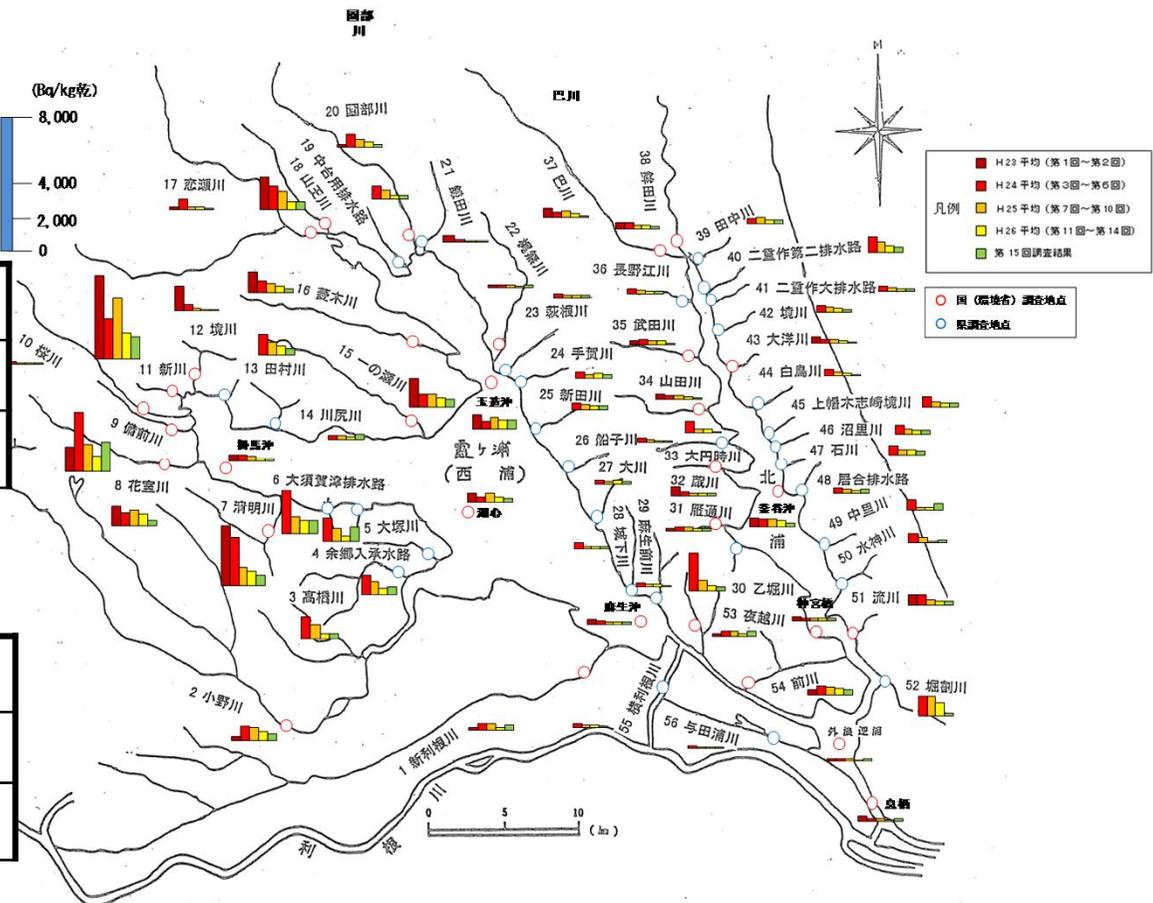


図 霞ヶ浦流入河川の底質の放射性物質モニタリング調査結果
(底質の放射性セシウム濃度) 出典; 県環境対策課

5. 農畜水産物の出荷制限, 自粛, 解除の状況

(1) 測定状況(平成27年7月29日現在)

- 対象 : 穀類, 野菜類, 畜産物, 魚介類, 茶等
- 品目数 : 301 品目
- 検体数 : 約118,000 検体

(2) 出荷制限・自粛を行っている品目(平成27年7月23日現在)

		出荷制限・自粛を行っている品目		これまで出荷制限・自粛 となった品目数
		品目数	主な品目	
農産物	野菜類	0	-	3(全て解除)
	特用林産物	6	原木シイタケ, タケノコなど	7(1品目で解除)
	茶	0	-	1(全て解除)
畜産物		0	-	1(全て解除)
野生鳥獣の肉類		1	イノシシ肉	1
魚介類	海産	12	イシガレイ(日立市川尻付近以北), シロメバルなど	28(16品目で解除)
	内水面	2	アメリカナマズ, ウナギ(ともに一部河川)	6(4品目で解除)

【備考】 放射性セシウム(¹³⁴Cs, ¹³⁷Csの合計)の基準値
 飲料水; 10 Bq/kg, 牛乳; 50 Bq/kg 一般食品; 100 Bq/kg, 乳児用食品; 50 Bq/kg

● 出荷制限・自粛及び解除の状況(平成27年2月20日以降)

- ◆ 出荷制限解除: 3月24日 ギンブナ, 4月17日 タケノコ(守谷市, つくばみらい市), 4月24日(取手市)
- ◆ 出荷自粛等解除: 3月24日 ゲンゴロウブナ, 4月10日 原木シイタケ(施設栽培)(石岡市, かすみがうら市の一部)
 7月8日 ムラソイ, 7月23日 イワナ, ヤマメ